



一隅を照らそう
2月号

337号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



時は過ぎる

住職 中島 有淳

あさ、電話が鳴った。

近所に住む元氣なご婦人からでした。「市営の霊園墓地が当たった」とのこと。ご主人を亡くし、七年近くも毎年抽選に応募していた経験があり、諦めかけていただけにとっても嬉しそう。「おめでとう」と言って電話を切った……。

「人間死んだらゴミになる」といつて物議をかもした元検事総長がいたが、とんでもない話だ。尊厳のかけらもない話です。

また、『私のお墓の前で、泣かないで下さい。そこには私はいません。眠ってなんていません。』と歌って、大いに流行った歌手があります。時代もあと押しして、歌い方も上手でした。

人は何故お墓参りをするのでしょうか。歌の文句ではありませんが、そこには何も無いのです。何の為に花やお線香をたむけるのでしょうか。それは、故人との「縁」を確認するからです。人が死んで残すのは「縁」で、自分がいまここに在るということは無数の人がこの世に引き継がれてきたものだからこそ、こうして存在している事実です。

よく人生をマラソンランナーに譬えられますが、バトンを託す内容は人さまざまです。財産や事業といっても、程度の差があり欲望や煩惱も共に、不公平でバトンとしてふさわしいか疑問です。愛情についても程度の違いが生じ、苦しみも生じます。毎日の生活で人は自分勝手であると知らされます。

人の生き様は「縁」によって成り立っています。この世を生きるということはどこかで誰かに必ず影響を受けたり、与えたりしている筈です。

二月十五日はお釈迦さまの入滅の日です。

生命あるものは生まれたらやがて死にます。お釈迦さまは八十歳で亡くなりました。眠るがごとくですが……。実際のところはチユンダという村の鍛冶屋の供養によるキノコ料理の毒にあたって亡くなったと言われています。咲いた花はいずれ散ります。散らした風雨は縁にすぎません。偶然でなく縁によつてです。チユンダの供養は、スジャータの乳粥の供養とともに釈尊への二大供養ともいわれます。

お釈迦さまは茶毘に附され、分骨されて世界中で供養されています。人々はお墓に参り「縁」を瞑想し、「業」を感じ、自分の生きる糧を得るのです。

先代住職 十三回忌法要を実施

去る一月十五日、當山十九世先代住職・寿量光院僧正亨倫和尚の十三回忌法要を執り行いました。妙楽寺住職御導師のもと、部内寺院皆様、當山総代一同にもご読経、お焼香を賜りました。

明治四十二年生まれの先代は、一〇一歳にて亡くなるまで、関東大震災、太平洋戦争、戦後の復興という大変な世の中を當山をひたすら護って参りました。檀信徒の皆様のおかげであります。

当日は墓前にも沢山の花を供え、今日在る事に感謝しました。

折りふしのはな

ヒメリユウキンカ(姫立金花)

寒風の中

元気に黄色い花を咲かせている

姫立金花

ハート型の葉が愛らしい

しなやかな茎で

四方に根を拡げているから

少しぐらいの風にも

動じないのかな

(遊)



行事案内

◎毎月八日 午後二時

薬師如来祈祷会 観音経読誦

◎毎月十二日 午後二時

智泉院法要日(於・日本橋茅場町)

◎毎月十八日 午後二時

観音経読誦法要(於・神木観音堂)

◎毎月二十八日 午後二時

不動明王護摩供修行

※マスク着用の上、静かにご参詣下さい

*毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております

ご都合のよろしい時には「一緒にご参詣」

2/19(土)

「止観(坐禅)会」 9:30-10:30(¥500)

「法華経を読む会」 11:00-12:00(¥300)

節分会 二月三日(木)午後二時

◎息災護摩札(志納金 一体五千元)

◎厄除護摩札(志納金 一体五千元)

◇自動車交通安全お守り(志納金 三千元)

◎盗難除け御札(志納金 一千元)

◎火難除け御札(志納金 一千元)

※感染症対策の上、厳修致します

追儺式(豆まき)は中止し、福豆はお配りします

あともがた

○新型コロナウイルスの「蔓延防止等重点措置」の対象都道府県が三十四(1/25)に拡大をいかに抑えるか。トンネルの先が見えませんが。

○世界的な仏教指導者である禅僧ティク・ナット・ハン師が、一月二十二日にベトナムの寺院で逝去。これに際しダライ・ラマ14世は「個人の心の平和が真の世界平和に寄与することを伝え、意義深い人生を送られた」と追悼。世寿95歳でした。

○海底火山の大規模噴火が起きたトンガでは、小島の全住宅が倒壊と。段々と今後も深刻なニュースが懸念され心配です。

○米軍普天間飛行場の辺野古への移設をどう考えるか。相手が何を言おうと無視し、経済効果としての発展で押さえ込む。抵抗の意を失わせ、反対しても無駄と。県民の複雑な思いを知ります。

○『文化財防火デー』(1/26)にあわせて當山でも先日消防署の訓練がありました。本年一月三日早朝に『東国花の寺百ヶ寺』で仲間の某寺が、本堂・庫裡等八棟が全焼という悲しい出来事があっただけに「火の用心」を確認しました。

○節分が過ぎれば立春。陽差しも暖かくなり草木も芽ぶくことでしよう。お元気で過ごして下さい。